

令和2年6月22日

各中学校長 様
各 理 事 様

鳥羽志摩中学校体育連盟 会長 東 和彦

令和2年度 鳥羽志摩中学校夏季体育大会 陸上競技の部について

記

- 1 主 催 鳥羽志摩中学校体育連盟
- 2 後 援 鳥羽市中学校校長会 志摩市中学校校長会
鳥羽市教育委員会 志摩市教育委員会
- 3 主 管 鳥羽志摩陸上競技協会
- 4 期 日 令和2年 8月5日(水) 予備日6日(木) 7日(金)
9時00分 開会式 9時20分 競技開始 少雨決行
- 5 場 所 三重交通Gスポーツの杜伊勢 補助陸上競技場
伊勢市宇治館町 510 TEL) 0596-22-0188
- 6 種 目 **男子種目(13種目)**
100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 110mH
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投
女子種目(12種目)
100m 200m 800m 1500m 2000m 100mH
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投
 - ・上記の種目を設定する。出場種目を専門部で確認し、種目数を確定させる。
 - ・1人でも出場選手がいたら、その種目を行う。
 - ・時間短縮のため男女同時に競技を行う場合もある。
- 7 参加制限
 - ①陸上部員のみ参加とする。(夏季大会1人1種目)
 - ②3年生のみ参加とする。
 - ③男女とも1人1種目とする。
- 8 申し込み
申込フォーム、申込方法、締切については専門部会で協議し、決定する。

※個人情報保護条例について

個人情報保護条例の施行に伴い、申し込み時に、プログラム掲載、新聞紙上への結果掲載、ホームページ等への掲載の承諾を各校で確認しておくこと。

申し込みのメールアドレス : t-nishio-joji@edu.city.shima.mie.jp

9 表 彰

- (1) 3位までの表彰とする。
- (2) 参加者が7名以下の種目は2位まで、3名以下の種目は1位のみとする。
- (3) 優秀選手の基準については、専門部で協議し、決定する。
- (4) 表彰は、閉会式内で全競技終了後まとめて行う。

10 アスリートビブス (ナンバーカード)

- (1) 学校ナンバーを使用する。
男女で番号が重ならないように注意すること。
- (2) 大きさは縦18cm横25cmとし、背と胸につける。
(ただし、走高跳・棒高跳は背・胸のどちらか一方、走幅跳・三段跳は胸のみでよい。)
- (3) 文字の幅は1cm以上で、男女とも黒で明記すること。

学校番号 (腰ゼッケン)

6001～6049	磯部	7100～7149	鳥羽東
7250～7299	文岡	7350～7399	東海
7850～7899	志摩		

11 ケガ等の緊急時の対応 伊勢市地域医療情報センター(0596-28-1199)

- ・急病、ケガ等については、競技場内の救護室にて応急処置を施します。
- ・大けが等の緊急を要する場合は、直ちに救急車を呼ぶか、伊勢市地域医療情報センターに連絡し、その指示に従う。

各校の審判割当数と補助員について

1 審判 (審判長は文岡中、西尾が兼任。陸上部顧問と鳥羽志摩陸協の審判員で行う。)

(養護は各日1名…審判数には入れないでください)

鳥羽東	2	磯部	2
文岡	2	東海	2
志摩	2		
外部審判	10名		
合計	20名		

※養護担当：安部(東海) 郷(文岡)

2 補助員

競技が終了した生徒、各校の2年生等で行う。
※前半にトラック種目、後半にフィールド種目を行う。
競技が終了した選手の中から、フィールドの補助員を出す。

競技注意事項

- 1 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟の規則と本大会要項により競技を行う。
本大会で出した記録は公認されない(非公認大会)
- 2 招集について
 - (1)トラック競技は、競技開始15分前より開始し、5分前に終了する。
 - (2)跳躍種目は、競技開始20分前より開始し、10分前に終了する。
投擲種目は、競技開始20分前より開始し、10分前に終了する。
 - (3)招集は、全種目とも現地招集とする。決められた時間に必ず集合すること

3 競技について

○トラックの競技

- (1) 100mとハードル種目は、1レース最大6名で行う。
- (2) 100mを除くトラック種目は、タイムレース決勝とする。
- (3) 100mについては、7名以上の参加者があった場合は、決勝レースを行う。
- (4) 100m及びハードル競技は、プログラム記載のレーンで競技すること。
- (5) 800mのスタート方法は、オープンスタートとする。
- (6) 800mは参加人数により、並び方を決める。(プロ編時に決定)
- (7) 1000m以上の種目では、18名までが1列目に並ぶこと。
- (8) 各レースで不正スタートを行ったものはすべて失格となる。
- (9) ハードルは次の規格で行う。()内は女子。
第1ハードルまで 13.72m (13.00m)
高さ 0.914m (0.762m)
ハードル間 9.14m (8.00m)

100mは、
1レース、
最大6名で
行う。
手動計時の
ため

○フィールドの競技

- (1) フィールド競技(走高跳、棒高跳を除く)は、全員6回の試技を行う。
- (2) 走幅跳・投擲種目は、全計測とする。
- (3) バーの上げ方は次の通りとする。
ただし、事前に顧問が協議し、変更する場合もある。

	男子走高跳	女子走高跳	男子棒高跳	女子棒高跳
練習	140	115	200	150
	145	120	220	150
	150	125	240	160
	155	130	260	170
	160	135	280	180
	163	138	300	190
	以後3cmずつ	以後3cmずつ	以降10cmずつ	以降10cmずつ

※順位決定戦については、走高跳は2cm、棒高跳は5cmずつ上下する。

※棒高跳の開始の高さはプログラム編成会議時に決定する。

- (4) 三段跳の踏み切り板の距離はプログラム編成会議時に決定する。
- (5) 投てき物の重さ

男子砲丸投 5Kg, 男子円盤投 1.5Kg
女子砲丸投 2.721Kg, 女子円盤投 1Kg

※スパイクのピンは、全天候性走路のためオールウェーザー用9mm以下のピンを使用すること。
なお、走高跳びについては、12mm以下とする。

4 表彰

- (1) 3位までの表彰とする。
- (2) 参加者が、7名以下の種目は2位まで、3名以下の種目は1位のみとする。
- (3) 優秀選手については、本大会での記録が優秀で、競技態度(学校生活)等、他の選手の見本となる者とする。
- (4) 表彰は、閉会式内で全競技終了後まとめて行う。

5 ウォーミングアップについては、次のことを厳守すること

- ・ 8：45までは補助競技場を使用してもよい。(トラック・芝生のみ可。フィールドは不可。)
- ・ それ以降は空いているスペースがあれば、補助競技場を使用してもよい。
(競技進行の妨げにならないよう十分注意すること。)
- ・ 雨天走路は使用可。多目的広場(旧サブトラ)は使用しない。

6 その他

- (1) 競技場での移動は、競技の邪魔にならないように注意すること。
- (2) 競技場、跳躍場では、自分の順番を待つ間は腰をおろしていること。
- (3) 自分の使用した道具等は責任をもって片付けること。
- (4) 中体連の申し合わせ事項により、ジュース等の購入を禁止する。装飾品も禁止。
- (5) ゴミは必ず持ち帰ること。
- (6) 大会での傷害については応急処置のみで以後の責任は負わない。
- (7) 投擲練習について、タオルを使つての投擲練習、メディシンボールやハンドボールを使つての練習は**投てき練習場(競技を行っていない時間帯)**で行う。
- (8) 各校ベンチについては割り振られた場所にとるようにする。
- (9) 急な天候変化については、大会長、専門部長において、中断、中止等の対応を協議する。

7 災害時への対応

地震・津波に対して何らかの発令が出された場合は、以下の安全対策に基づいて行動すること。

(1)大会開始前

- ・ 在宅中の場合には、自宅にて安全を確保させる。午前6時の段階で発令されている場合は、その日の競技はすべて中止とする。
- ・ 会場への途上の場合には、速やかに帰宅する。なお、公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う。

(2)大会開催中

- ・ ただちに競技を中断し、その場で待機するか、帰宅するか、本競技場2Fコンコースに避難するか状況を大会長が判断して、もっとも安全と思われる方法を指示する。

(3)発令が解除された場合

- ・ 解除された場合であっても、交通機関、通信手段等相当な社会混乱が予想されるため、当分の間大会は中止する。

(4)報告

- ・ 専門部委員長は、大会の実施、中止、延期等について必ず中体連事務局に報告を行う。

8 各校の準備物

簡易ベッド2⇒磯部・文岡	氷のう(ビニール袋)・らくのみ⇒専門部長	
チェーンロック⇒専門部長	パソコン・プリンタ⇒成瀬	テント⇒各校
インカム⇒鳥羽東	タンカ⇒鳥羽東	

陸上大会当日の準備と諸連絡について

- 0 中止・延期の判断は、6時に現地で行う。延期の可能性がある場合は6：30まで待機。そこで最終決定とする。
- 1 集合 7時00分 (開門7時00分)
- 2 打ち合わせ 準備に関する打ち合わせ7時05分
- 3 朝の準備 (補助員と共に) 7時15分 (打ち合わせ終了後)
- | | |
|---------|----------------|
| 走幅跳 | 天白・(中村)【文岡】 |
| 走高跳・棒高跳 | 城山【高：文岡、棒：東海】 |
| 砲丸投・円盤投 | 岡部【磯部】 |
| スタブ・スター | 中村・スターター審判【志摩】 |
| ハードル | 山本【鳥羽東】 |
| 放送 | 西尾 |
| 事務室挨拶 | 岡部・西尾 |
| 表彰台 | 成瀬 |
| 記録室 | 成瀬・西尾 |
| 用器具室 | 西尾 |
| 審判受付 | 西尾 |
- 4 審判打ち合わせ (8時45分※開会式前)
- 【司会 岡部】
- ・ 会長挨拶 (東)
 - ・ 審判長 (西尾)
 - ・ 専門部長 (西尾・中村光)
- 全体打ち合わせ終了後、各パート別 (主任を中心に) で打ち合わせ。
- 5 弁当について (担当：西尾)
- ・ 外部審判のみ弁当を渡す。
- 6 後片付けについて (全体：西尾)
- ・ 各ブロックで責任をもって、片付ける。尚、わからない場合は、西尾に聞く。
必ず、出した学校・教員で同じように片づける。
※準備をする前に写真を残しておくとい。
- 7 プログラムについては、各校1部ずつ配布する。
審判分については、当日の朝、審判受付の時に渡す。

タイムテーブル (専門部会で協議して決める。)

7:00	集合	
7:05	打ち合わせ	
7:15	朝の準備	
8:45	競技場練習終了	
8:45	審判打ち合わせ	
9:00	開会式	
9:20	競技開始	

時間については、プログラム編成会議後、最終調整する。